

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月10日

【四半期会計期間】 第89期第3四半期
(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 江口達夫

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第88期 第3四半期 連結累計期間	第89期 第3四半期 連結累計期間	第88期
		自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	14,738,362	14,691,589	19,177,731
経常利益	(千円)	1,523,409	1,076,547	1,614,778
四半期(当期)純利益	(千円)	973,239	557,415	1,006,737
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	871,187	591,513	890,681
純資産額	(千円)	12,410,368	12,687,749	12,425,922
総資産額	(千円)	18,989,309	18,838,646	17,844,191
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	36.69	20.84	37.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	65.4	67.3	69.6

回次	会計期間	第88期 第3四半期 連結会計期間	第89期 第3四半期 連結会計期間
		自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.89	3.01

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第88期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間における、当社グループ(当社並びに当社の子会社及び関連会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成23年12月22日開催の取締役会において、Bangkok Inter Food Co.,Ltd.及びThai Fermentation Industry Co.,Ltd.との3社で、タイにおける合併会社を設立することの決議を行い、平成24年1月21日付けで合併契約を締結しております。

詳細につきましては、『第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表』の重要な後発事象を参照してください。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかに持ち直しているものの、欧州債務危機による金融市場の悪化懸念、円高の長期化、中長期的な電力不足問題など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組むとともに、機能性食品素材「イヌリン」の拡販、新たな素材の研究開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,691百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益981百万円（同29.9%減）、経常利益1,076百万円（同29.3%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損81百万円など総額94百万円を計上した結果、四半期純利益は557百万円（同42.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の業績は、売上高10,050百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益1,097百万円（同26.5%減）となりました。売上高は、期初において電力供給問題からの前倒し需要があったものの、その後、販売価格の先安感から低調な荷動きとなり、販売数量が前年同期比で減少した結果、減収となりました。損益面では、販売数量の減少に加え、原材料価格及びエネルギーコストの上昇により、前年同期比で減益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高4,182百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益23百万円（同41.2%増）となりました。売上高は、連結子会社ユニテックフーズ㈱のOEM関連事業において東日本大震災による販売減等があったものの、当社の機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品メーカーの脂肪代替商品が前期後半より引き続き好調に推移した結果、ほぼ前年同期並となりました。損益面では、イヌリンの増収による収益改善や各部門においてコスト削減に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高459百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益395百万円（同3.3%減）となりました。本社ビルの一部が空室となったため、若干ながら前年同期比で減収減益となりましたが、安定収益の確保に貢献いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.6%増加し、18,838百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ18.5%増加し、8,549百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ3.2%減少し、10,289百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産の減少等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ27.7%増加し、4,589百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ14.4%減少し、1,561百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.1%増加し、12,687百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、45百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(5)従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6)生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7)主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株で あります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年12月31日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,006,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,259,000	26,259	
単元未満株式	普通株式 483,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,259	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1-4-9	3,006,000		3,006,000	10.10

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,119	1,774,452
受取手形及び売掛金	1,750,397	2 1,835,787
有価証券	322,050	322,064
商品及び製品	1,220,131	1,749,282
仕掛品	127,079	124,302
原材料及び貯蔵品	1,284,726	1,064,882
その他	940,434	1,680,940
貸倒引当金	5,368	2,401
流動資産合計	7,215,571	8,549,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	725,433	684,615
機械装置及び運搬具（純額）	143,657	170,554
土地	2,048,834	2,048,834
その他（純額）	51,257	113,967
有形固定資産合計	2,969,183	3,017,972
無形固定資産		
のれん	1,009,765	928,774
その他	60,147	72,407
無形固定資産合計	1,069,912	1,001,182
投資その他の資産		
投資有価証券	3,927,798	3,888,379
関係会社長期貸付金	1,804,900	1,937,100
その他	955,007	533,172
貸倒引当金	98,181	88,470
投資その他の資産合計	6,589,523	6,270,180
固定資産合計	10,628,619	10,289,335
資産合計	17,844,191	18,838,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	809,033	1,175,319 ²
短期借入金	1,826,364	1,825,776
未払法人税等	220,507	64,793
賞与引当金	114,914	60,754
役員賞与引当金	13,820	9,190
その他	609,044	1,453,662
流動負債合計	3,593,683	4,589,495
固定負債		
長期借入金	731,075	560,564
退職給付引当金	441,001	368,341
役員退職慰労引当金	133,899	140,397
資産除去債務	53,693	54,101
持分法適用に伴う負債	16,313	-
その他	448,602	437,997
固定負債合計	1,824,585	1,561,401
負債合計	5,418,268	6,150,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,249	2,524,249
利益剰余金	8,926,603	9,162,787
自己株式	732,754	741,210
株主資本合計	12,242,558	12,470,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,948	220,019
繰延ヘッジ損益	3,583	2,557
その他の包括利益累計額合計	183,364	217,462
純資産合計	12,425,922	12,687,749
負債純資産合計	17,844,191	18,838,646

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	14,738,362	14,691,589
売上原価	10,916,384	11,320,828
売上総利益	3,821,978	3,370,761
販売費及び一般管理費	2,420,594	2,388,808
営業利益	1,401,383	981,952
営業外収益		
受取利息	36,987	37,964
受取配当金	37,282	43,613
持分法による投資利益	86,774	47,000
その他	15,922	15,411
営業外収益合計	176,966	143,989
営業外費用		
支払利息	34,949	26,500
匿名組合投資損失	17,215	16,270
その他	2,775	6,623
営業外費用合計	54,940	49,394
経常利益	1,523,409	1,076,547
特別利益		
投資有価証券売却益	1,530	-
特別利益合計	1,530	-
特別損失		
減損損失	3,527	9,125
投資有価証券評価損	-	81,454
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	-
その他	2,092	4,104
特別損失合計	41,528	94,684
税金等調整前四半期純利益	1,483,410	981,863
法人税、住民税及び事業税	454,694	317,788
法人税等調整額	55,476	106,658
法人税等合計	510,171	424,447
少数株主損益調整前四半期純利益	973,239	557,415
四半期純利益	973,239	557,415

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	973,239	557,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,798	33,071
繰延ヘッジ損益	747	1,026
その他の包括利益合計	102,051	34,097
四半期包括利益	871,187	591,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,187	591,513
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
1 偶発債務 (債務保証) 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖(株) 947,000千円 南栄糖業(株) 122,413千円 なお、上記南栄糖業(株)に対する債務保証のうち、16,313千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。	1 偶発債務 (債務保証) 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖(株) 724,000千円 南栄糖業(株) 122,413千円 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形及び売掛金 16,940千円 支払手形及び買掛金 2,880千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
減価償却費	98,309千円	減価償却費	102,788千円
のれん償却額	80,991千円	のれん償却額	80,991千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月14日 取締役会	普通株式	264,642	10.00	平成22年3月31日	平成22年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	321,231	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月3日	利益剰余金

(注) 普通配当 10.00円 記念配当 2.00円

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,081,725	4,182,132	474,504	14,738,362		14,738,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,714	1,160	832	12,707	12,707	
計	10,092,440	4,183,293	475,336	14,751,070	12,707	14,738,362
セグメント利益	1,493,426	16,888	409,338	1,919,653	518,270	1,401,383

(注) 1 セグメント利益の調整額518,270千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,050,018	4,182,554	459,017	14,691,589		14,691,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,112	578	832	11,523	11,523	
計	10,060,130	4,183,132	459,850	14,703,113	11,523	14,691,589
セグメント利益	1,097,587	23,844	395,975	1,517,407	535,455	981,952

(注) 1 セグメント利益の調整額535,455千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	36.69円	20.84円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	973,239	557,415
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	973,239	557,415
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,526	26,748

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(重要な契約の締結)

当社は、平成24年1月21日付にて、Bangkok Inter Food Co.,Ltd.及びThai Fermentation Industry Co.,Ltd.との3社間で、タイ国において合弁会社を設立することに関する合弁契約を締結いたしました。

その主な内容は、次のとおりであります。

1. 合弁契約の目的

当社は、現在、日本国内において機能性食品素材「イヌリン」の製造販売を行っておりますが、当該事業の更なる成長戦略として海外での事業展開を検討した結果、タイ国において価格競争力のある同製品の製造販売を行う合弁会社を共同で設立することを平成23年12月22日の取締役会にて決議いたしました。

2. 契約相手先の名称等

- (1) 商号 Bangkok Inter Food Co.,Ltd.及びThai Fermentation Industry Co.,Ltd.
- (2) 所在地 タイ国バンコク都
- (3) 当社との関係 資本関係、取引関係、人的関係等はありません。

3. 契約(合弁会社設立)の内容

- (1) 商号 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.
- (2) 所在地 タイ国
- (3) 事業内容 機能性食品素材「イヌリン」の製造販売
- (4) 資本金 3億バーツ
- (5) 出資比率
フジ日本精糖株式会社 55.0%
Bangkok Inter Food Co.,Ltd. 22.5%
Thai Fermentation Industry Co.,Ltd. 22.5%
- (6) 決算期 3月末日

4. 契約締結が業績等に及ぼす重要な影響

当該合弁会社は当社の連結子会社となりますが、会社設立は平成24年4月(予定)となるため、平成24年3月期の連結業績に与える影響はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月6日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 町田 恵美

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山澄 直史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。